

報道関係者各位

～ 注目集まる 携帯電話料金の引き下げについて調査を実施 ～

**妥当だと思う携帯電話の月額料金
3大キャリア利用者は 3,000 円台と 5,000 円台
格安スマホ利用者は 2,000 円台が多数**

選挙調査をおこなう株式会社グリーン・シップ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:田中明子)は、2020年9月26日(土)、27日(日)に自主調査を実施しました。

本調査は毎月内閣支持率などについて実施していて、今回は携帯 RDD に IVR でアンケート回答の承諾をもらった 2,882 名にショートメールを送信して、WEB アンケートで全国 1,748 名より回答を得ました。

当社が行う調査法は従来の固定電話の調査と比べて、国勢調査の割合に近い 10 代から 60 代までの年代にまんべんなく調査ができ、特に他の調査では取得が困難な 10 代から 30 代までの若年層の意見を収集することができます。また、スマートフォンのテキスト入力で行う調査のため、70 代以上と女性はやや少ない数値となっています。

■現在の利用料金から大幅な引き下げ求める 3大キャリア保有者

今回は毎月調査している内閣支持率以外に、菅総理が誕生して注目が集まっている携帯電話料金引き下げについても調査しました。

現在利用している携帯電話キャリアは、83%が NTT ドコモ、au(KDDI グループ)、ソフトバンクモバイルの 3 大キャリアで、楽天モバイルなどの格安スマホは 17%でした。

そして、現在の携帯電話の利用料金と妥当と思う料金について、1,000 円刻みの選択肢で聞いたところ、携帯電話で支払っている月額料金は、3 大キャリア保有者では 10,000 円台と 15,000 円台が 15%と最も多く、次いで 8,000 円台(11%)、5,000 円台(10%)でした。格安スマホ保有者で最も多いのは 3,000 円台(25%)で、次いで 2,000 円台(24%)、1,000 円台(18%)という結果でした。

【表1】

一方、月額利用料で妥当と思う金額について聞いたところ、3 大キャリア保有者は 3,000 円台(28%)が最も多く、次いで 5,000 円台(24%)でした。格安スマホ保有者で最も多いのは 2,000 円台(36%)で、次いで 1,000 円台と 3,000 円台が 24%という結果となりました。3 大キャリアと格安スマホの保有者の現在の月額利用料と比べると、3 大キャリアは約 2 分の 1、格安スマホでは現在の料金でおおむね満足していることが伺える結果となりました。

携帯電話の月額料金 現在と妥当と思う金額について【表1】

項目	3大キャリア保有者		格安スマホ保有者	
	現在の月額料金	妥当と思う月額料金	現在の月額料金	妥当と思う月額料金
1,000円未満	-	3%	-	6%
1,000円台	1%	5%	18%	24%
2,000円台	2%	14%	24%	36%
3,000円台	3%	28%	25%	24%
4,000円台	5%	10%	12%	5%
5,000円台	10%	24%	8%	5%
6,000円台	9%	5%	3%	1%
7,000円台	9%	2%	3%	0%
8,000円台	11%	2%	1%	0%
9,000円台	6%	0%	1%	0%
10,000円台	15%	4%	2%	0%
11,000円台	3%	0%	0%	0%
12,000円台	5%	0%	0%	0%
13,000円台	2%	0%	0%	0%
14,000円台	1%	0%	0%	0%
15,000円以上	15%	1%	1%	0%
無回答	1%	1%	1%	1%

(n=1,745)

■次世代の新たな調査手法

当社が行うは、『ロボットコール SMS 調査』という手法で実施しています。アウトバウンド IVR でランダムに抽出したスマートフォンに架電して、回答承諾を取得した人へショートメールでアンケートアドレスを送信。その後、WEB サイト経由でアンケートに回答して返信してもらっています。本調査は架電対象が若年層に身近なデバイスであるスマートフォン所有者となるため、従来型の電話音声調査とは異なる年代への調査が可能です。従来のオペレータ調査や WEB 調査と比較して、自由記入のテキスト入力が可能で回答者の 60%~70%の記入が得られています。

また、本調査では、回答者の希望により日本赤十字社や日本盲導犬協会などの団体いずれかに当社負担で 1 件につき 100 円を寄付しています。今回調査までの累計寄付金額は 5,711,700 円です。

株式会社グリーン・シップは、今後も毎月自主調査を実施して、若年世代の世論の推移を伝えてまいります。

【調査概要】

調査目的: 政治に関する世論調査

調査日: 2020 年 9 月 26 日(土)、27 日(日)

調査方法参考: 携帯 RDD に IVR でアンケート回答承諾を取得後、ショートメールを送信して実施

回答件数: 1,748 サンプル

回答者属性:

年齢	男性		女性		答えない		合計	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
18歳未満	11	1%	1	0%	3	16%	15	1%
18歳・19歳	16	1%	7	1%	2	11%	25	1%
20代	180	15%	73	15%	1	5%	254	15%
30代	228	19%	114	23%	1	5%	343	20%
40代	288	23%	103	21%	7	37%	398	23%
50代	271	22%	118	24%	3	16%	392	22%
60代	176	14%	64	13%	1	5%	241	14%
70歳以上	62	5%	17	3%	1	5%	80	5%
合計	1232	100%	497	100%	19	100%	1748	100%

本プレスリリースに記載以外の調査項目、及び結果については、株式会社グリーン・シップのホームページに掲載しています。 <https://s.robot-sms.jp/ZxUyQr>

【会社概要】

会社名 : 株式会社グリーン・シップ
代表取締役社長 : 田中 明子
設立 : 2008年11月7日
資本金 : 7,615万円
従業員数 : 8名
本社所在地 : 東京都千代田区神田神保町 2-11-15 住友商事神保町ビル 2階
TEL.03-6869-7040
ホームページ : <https://www.green-ship.co.jp>
事業内容 : 選挙調査の実施
コールセンター業務(アウト、イン、SMS)の自動化システム開発
クラウドサービス(ロボットコールセンター®)提供
多回線システム(1日最大1,500万件架電可能)の受託業務

本件に関するお問い合わせ

グリーン・シップ広報事務局 担当:若杉千穂 (携帯:090-3045-1584)

電話:03-5411-0066 FAX:03-3401-7788

E-mail:pr@netamoto.co.jp